

都立葛飾商業高等学校 令和5年度 年間授業計画

教科	商業	科目	課題研究（販売）	学年	3	単位	3
教科書(出版社)		なし					
副教材等(出版社)		なし					

1. 学習の目標

- (1) 実店舗販売活動を通して、自ら題を設定し、その課題の解決を図る学習を進める。
- (2) 専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。

2. 学習内容

学期	単元	授業内容	時数
1 2	<p>(1) 実習を進めるにあたって</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 年間計画・実習概要について ② 授業の心構えについて ③ ビジネスサイクル(経営資源とその流れ)について ④ 利害関係者と企業の社会的責任・存在意義について ⑤ 経営理念について <p>(2) 会社を作る</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 役員の選定、経営理念の考案 ② 事業内容の設定と精選 ③ 事業目標の設定 ④ 株主総会 <p>(3) 実店舗経営－1</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 実店舗の確認 ② 資金・購買・販売計画 ③ 販売商品の計画 ④ 広告・販売戦略と実践 ⑤ 販売の実際 ⑥ 実習成果の確認・検証と評価 ⑦ 次回販売活動の課題設定及び課題解決策の立案 ⑧ 株主総会 <p>(4) 実店舗経営－2</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 新たな商品の選定・開発と資金・購買・販売計画 ② 地域企業との連携 ③ 地域社会との連携 ④ 連携の実際 ⑤ 活動成果の確認・検証と評価 ⑥ 次回活動への課題設定及び課題解決策の立案 ⑦ 株主総会 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業概要の把握 ○ 企業と会社の違い、企業とその経営活動について概要を理解する (この項は課題学習でも取り扱う) ○ 自らが模擬企業活動の実践を進めることを認識する (この項は課題学習でも取り扱う) <p>以下の内容について、生徒のグループワーク（協働的な学び）において授業を展開していく 生徒が情報の収集と整理を通して相互に意見・発案等を発表・評価しあうこと(主体的な学び)をとおして内容を高めていく</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 資金計画や人事計画(販売活動の役割・配置分担)と実践等経営活動に必要な知識・技術について学ぶ ○ 商品計画と開発・購買の実践などをとおしてマーケティング活動に必要な知識・技術について学ぶ ○ グループワークや発表活動(株主総会)を通して自己の学びを整理すること、他者を評価し認め合うことを学ぶ ○ 店舗レイアウト設計や広告、販売員活動の計画と実践をとおしてプロモーション活動に必要な知識・技術について学ぶ ○ 企業や社会施設、他校との連携等を通して社会と人、社会と自分の関わりについて实际的に学ぶ ○ 販売活動や地域との連携活動を通して社会活動について实际的に学ぶ ○ 1学期の成果と2学期の活動方針・計画をまとめ、学習成果発表会を通して発表活動をするための準備を進める ○ 北小岩商栄会実習店舗や葛飾区高砂音楽祭への出店を計画する 	81
3	<p>(5) プレゼンテーション活動</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 1・2学期の活動の整理 ② 発表成果物の作成 ③ 発表手順の計画 ④ 発表活動の評価と改善 	<p>今までの学習を振り返り、整理・発表することを通して習得した知識・技術などについて確認をする</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ プレゼンテーションに必要な知識と技術について学ぶ ○ 他のプレゼンテーションを受け止め、その中で得た情報等について整理するとともに適切に評価する。 ○ 学習成果発表会の機会を活用する 	12

3. 評価規準・評価方法

評価の観点	評価方法	A (良い)	B (概ね達成)	C (不十分)
【関心・意欲・態度】 用具の準備や出席状況、販売実習・準備や発表に取り組む態度など	授業の取組 販売実習の取組	・授業内容や目標を理解し、自ら応用・発展的な知識・技術の収集・習得に努めた	・授業内容を理解し適切に実習等の活動に取り組んだ ・発展的な内容の習得は認められなかった	・授業内容を理解して実習等の活動に取り組んでいなかった
【思考・判断】 販売実習・準備や発表が計画的かつ円滑に進められるか	授業の取組 販売実習の取組	・グループ内に発生した課題について発見し、建設的な解決策を提案するなどできた	・グループ内に発生した課題について認識したが解決策の提案には至らなかった	・グループ内の課題について認識できなかった。あるいは看過する姿勢であった
【表現・技能】 自らの役割に応じた専門的な知識・技能を活用して販売・発表活動をできたか	授業の取組 販売実習の取組	・作業に率先して参加し、手際よく進めた ・準備や片付けにもリーダー的な役割を果たした	・準備・片付けを含めた実習に参加したが、指導教員や友人の指示を待たないと行動できない等積極性が見られなかった	・実習に参加をしなかった。参加をしても協力的な姿勢・態度ではなかった
【知識・理解】 自らの役割に応じた専門的な知識・技能を活用して販売・発表活動をできたか	授業の取組 販売実習の取組	・右記検定の合格基準に達している ・販売士検定3級(日商)における「マーケティング」「マーチャライジング」「マーケティング」「ストアオペレーション」の分野の理解ができる	・商業経済検定・マーケティングにおける「販売計画」「仕入計画と商品管理」の分野が理解できる ・商業経済検定・ビジネス経済Bにおける「企業経営」「ビジネスの創造と地域産業の振興」の分野が理解できる。 ・サービス接遇検定(実務技能検定協会)の内容が理解できる	・左記検定各分野における重要用語の理解ができていない

【評価方法】以下の基準により総合的に判断する。

- (1) 7 : 3 = (授業・実習状況、出欠、提出物) : (発表成果物) の割合で評価する
- (2) 販売演習の参加、課題取組、協力共同作業の取り組み
- (3) 実際に行動し、まとめ、発表することができる。

都立葛飾商業高等学校 令和5年度 年間授業計画

教科	商業	科目	課題研究 (パーソナルファイナンス)	学年	3	単位	3
教科書(出版社)							
副教材等(出版社)		FPの教科書3級・FPの問題集(TAC出版)					

1. 学習の目標

社会保障や租税に関する知識を習得することで広く社会問題に関心を持ち、又、自らの意見を持つことで、将来、消費者として適切な選択ができることを目標とする。

2. 学習内容

学期	単元	授業内容	時数
1	(1) ライフプランニングと資金計画 (2) タックスプランニング (3) 相続・事業承継	<ul style="list-style-type: none"> ・ ライフプランニング策定上の資金計画 ・ 社会保険と公的年金の全体像 ・ 所得税の基本 ・ 相続の基本 ・ 贈与税 	36
2	(4) 不動産 (5) ライフプランニング (6) リスクマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不動産の基礎 ・ 社会保険の詳細 <ul style="list-style-type: none"> 公的年金の詳細 厚生年金の詳細 その他社会保険 ・ 保険の基礎 	45
3	(7) 金融資産運用 (8) ファイナンシャルプランニング技能士検定3級 受験対策	経済・金融の基礎 金融商品 <ul style="list-style-type: none"> ・ 模擬試験演習 	12

3. 評価規準・評価方法

評価の観点	評価方法	A (良い)	B (概ね達成)	C (不十分)
【関心・意欲・態度】 教科書等の準備や問題演習に取り組む態度など	授業への貢献 (意欲的に問題意識を持ち授業に参加したか) 20%	教科書記載内容をテーマとし、発展的な内容について自ら調査・研究している。	教科書記載内容について、理解している。	教科書記載内容について必要最低限の知識について習得していない
【思考・判断】 得た知識を時事問題の理解に役立てられるか	課題(年間5回程度) 30% ・成人年齢引き下げについて等について、調査・発表	時事問題について理解し、自分の意見を持っている	テキスト等の知識を習得しているが、現実社会と結び付け理解することができていない。	テキスト等の知識を習得していない
【表現・技能】 得た知識を自らの将来に役立てられるか	課題(年間5回程度) 60% ・高校生の税の作文 ・ライフプラン表の作成等	課題作成にあたって、調査研究し、自分の言葉で表現している。	課題作成にあたって、調査研究している。	課題作成にあたって、見本を模倣している。
【知識・理解】 単元ごとの確認テスト	単元ごとの知識確認テスト(年間10回を予定) 40%	各確認テストについて、平均80%以上の得点	各確認テストについて、平均50%以上の得点	各確認テストについて、平均50%未満の得点

※具体的な評価方法等

- ・「3級ファイナンシャルプランニング技能士試験」の受験は任意とする(受験しないことを減点対象とはしない)が、受験を多いに推奨し、獲得した得点を加点対象とする。

都立葛飾商業高等学校 令和5年度 年間授業計画

教科	商業	科目	課題研究（国際理解）	学年	3	単位	3
教科書（出版社）							
副教材等（出版社）							

1. 学習の目標

国際社会においては広い視野を持って異文化を理解し、異なる文化や習慣を持った人々とともに生きていくことが求められる。昨今のグローバル化に対応するために、世界の文化を学習し、その多様性を受け入れることができる寛容な態度を身につける。

さらに、今年度から12月の研究成果の発表大会に向けた準備、プレゼンテーションに中心とした発表に向けたスキルを身に付ける。

2. 学習内容

学期	単元	授業内容	時数
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国際理解の意義 ・ 日本と関係する国々 ・ 日本と関係したことがない国 ・ 日本を取り巻く国際社会 ・ プレゼンテーション 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各自で日本とは ・ 日本と関係する国、（歴史・文化・食・衣服・生活様式など） ・ プレゼンの準備としての流れや確認 プレゼンテーション内容の確認 ・ ストーリーづくり ・ ストーリーの完成 ・ 情報収集 ・ 個人での「国際理解について」のテーマ発表・3分以内 ・ パワーポイント・発表用の原稿用紙作成 	36
2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2学期終了後のプレゼンテーションの準備 ・ プレゼンテーション 	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループの編成 ・ テーマ決定（国際理解に関すること） ・ 情報収集と整理と分析 ・ アイディア力を向上させるための様々なツール手法の習得 ・ グループでのプレゼンテーション。 ・ プレゼンテーション確認シート ・ 視覚資料のチェック ・ 配布資料のチェック ・ 表現力をつける（ビジネスマナー） ・ リハーサルの進め方 	45
3	<ul style="list-style-type: none"> ・ まとめ ・ プレゼンテーション 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年間の感想・調査研究して学んだこと、今後これらどのように生かしたいか。 ・ 今後の進路に生かすことをするにはどのようにすべきか ・ プレゼンテーションの実施と反省 	12

3. 評価規準・評価方法

評価の観点	評価方法	A (良い)	B (概ね達成)	C (不十分)
【関心・意欲・態度】 国際理解について自ら学び、必要な情報の収集と分析に主体的にかつ協働的に取り組もうとしている。	プレゼンテーション・発表用の原稿・視覚資料・ワークシート	国際理解について自ら学び主体的・協働的に取り組むことができる。	国際理解について自ら学び主体的・協働的に取り組むことができる。	国際理解について自ら学び主体的・協働的に取り組むためには努力が必要である。
【思考・判断】 国際理解に関する課題を発見し、ビジネスに求められる合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている	プレゼンテーション・発表用の原稿・視覚資料・ワークシート	国際理解に伴うビジネスに関する課題を発見し改善案を出せることができる。	国際理解に伴うビジネスに関する課題を発見し改善案を部分的に出すことができる。	国際理解に伴うビジネスに関する課題を発見し改善案を出すためには努力が必要である。
【表現・技能】 プレゼンテーション・論述やレポートなど伝える力が身に付いている。	プレゼンテーション・発表用の原稿・視覚資料・ワークシート	国際理解について自ら学び主体的・協働的に伝える力がある	国際理解について自ら学び主体的・協働的に伝える力がある部分的にある。	国際理解について自ら学び主体的・協働的に伝える力に努力が必要である。
【知識・理解】 国際理解について、体系的に・系統的に理解しているとともに、日本と世界とのつながりを十分に認識している	プレゼンテーション・発表用の原稿・視覚資料・ワークシート	国際理解について動向と理論とが関連付けられている。	国際理解について動向と理論とが関連付けが部分的に出来ている。	国際理解について動向と理論とが関連付けて理解するためには努力が必要である。

※具体的な評価方法等

- ・プレゼン評価シート、ワークシート、発表原稿（パワーポイント作成）、説明原稿（ワード）、出欠状況

都立葛飾商業高等学校 令和5年度 年間授業計画

教科	商業	科目	課題研究 (ビジネスマネジメント演習)	学年	3	単位	3
教科書(出版社)							
副教材等(出版社)		事例探求ワークブック 『ビジネス編』 実教出版 『ビジネス実践』 実教出版					

1. 学習の目標

多くの情報から信頼性の高い情報を見極める力や経済社会の一員としての望ましい心構えを身につけ、ビジネスの諸活動に適切に対応する能力と態度を育てる。また新たなビジネスを生み出すための基礎的な知識と技術の習得を目指す。

2. 学習内容

学期	単元	授業内容	時数
1	<ul style="list-style-type: none"> 事例研究1「フィルム・ツーリズム」 事例研究2「小売業が把握する情報からみえるもの」 事例研究3「顧客が納得する価格」 事例研究4「プロモーションによる顧客の獲得」 事例研究5「広告コピーを作るコツ」等 	<ul style="list-style-type: none"> 各事例を読み、重要用語について調べ、自分の考えをワークシートにまとめる。 各事例中に登場したキーワードについて、ビジネスに絡めた教員出題の設問についてのレポートを作成する。 テキストのワークシートを完成させる。 	36
2	<ul style="list-style-type: none"> 事業計画書の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ビジネスプランの作成。 市場調査(インターネット等) SWOT分析 STP分析 模擬会社の立案 定款等の作成 予算案の作成 発表、他社の評価等 	45
3	<ul style="list-style-type: none"> 事業計画書完成 1年間のまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> 2学期末の発表での評価表を参照し、改善点を修正 1年間のまとめ 	12

3. 評価規準・評価方法

評価の観点	評価方法	A (良い)	B (概ね達成)	C (不十分)
【関心・意欲・態度】 出席状況、課題等に取り組む態度等。	・提出課題 ・プレゼンテーション	課題に対して、有効な回答を導き出し、更に自らの考えも明確に述べられている。	課題に対して一般的な回答を導き出せている。	課題に対しての回答が不十分である。
【思考・判断】 研究を計画的にかつ円滑に学習を進められるか	・提出課題 ・プレゼンテーション	研究を進める中で発生した課題に対して建設的な解決策を提案することができた。	研究を進める中で発生した課題を認識することはできたが解決策の提案には至らなかった。	研究を進める中で発生した課題を認識できなかった。
【表現・技能】 発表・問題解決を適切に行うことができるか。	・提出課題 ・プレゼンテーション	発表資料について事例等を活用し明確でわかりやすくまとめている。	発表資料について事例等を活用しまとめている。	発表資料についてのまとめが不十分である。
【知識・理解】 研究課題を的確に捉え、情報を見極めて利用しているか	・提出課題 ・プレゼンテーション	基本的事項がよく理解できており、自らの考えをまとめることができている。	基本的事項が概ね理解できており、活用することができた。	基本的事項の理解が不十分である。

※具体的な評価方法等

- (1) 6 : 4 = (授業状況・出欠) : (課題・発表) の割合で評価する
- (2) 課題について、提出期日内に指示された通りの内容で提出・発表できているか。
- (3) 発表等において、自分の考えを的確に伝えることができたか。

都立葛飾商業高等学校 令和5年度 年間授業計画

教科	商業	科目	課題研究（地域デザイン）	学年	3	単位	3
教科書(出版社)							
副教材等(出版社)							

1. 学習の目標

地域の文化的資源を調査・分析し、課題に対し広い視野で解決できる能力を育成し、デザイン力及び創造的思考で物事を捉え、考え、アイデアを醸成できる知識・能力を身に付けさせる。

2. 学習内容

学期	単元	授業内容	時数
1	課題研究について 地域デザインとは 東京の観光資源等の調査 観光甲子園にむけて あなたの町を舞台に SDGs 思考で修学旅行プランを計画	課題研究についてガイダンス 全国の高校生の取組みを調査する 書籍等を使用して調査 調べ学習で得た、情報を基に修学旅行プランを計画し、応募する。	36
2	葛飾区の資源を活用 卒業旅行プランの計画	葛飾区へ観光客誘致についてプランを考え、プレゼンする。 高校生の卒業旅行プランを計画する。	45
3	課題発表	プレゼンテーション実施	12

3. 評価規準・評価方法

評価の観点	評価方法	A (良い)	B (概ね達成)	C (不十分)
【関心・意欲・態度】 地域デザインに関心があり、積極的に課題に取り組もうとしている。	・授業 ・提出物	地域活性化に向けて、常に関心を持って、課題解決に向けて自ら積極的に取り組んでいる。	地域活性化に向けて、課題解決に向けて取り組んでいる。	地域活性化に関心を持たずに、取り組んでいる。
【思考・判断】 地域活性化のためにどのようにすればいいのかを考えて、課題制作を行うことができる。	・授業 ・提出物	活性化プラン作成にあたり、データを積極的に用いて調査分析を行い、プランを考えている。	活性化プラン作成にあたり、データを用いてプランを考えている。	活性化プラン作成において、データを用いないでプランを考えている。
【表現・技能】 既存のソフトや適切なソフトなどを活用し、創造的思考に基づいた作品を制作することができる。	・授業 ・提出物	地域活性化のことを考えて、地域の視点に立って、創造的な思考で提案内容を制作している。	地域活性化のことを考えて、提案内容を制作している。	自分本位の考えで、あまり考慮しないで提案内容を制作している。
【知識・理解】 作品制作やプレゼンテーションに必要な知識を習得している。	・授業 ・提出物	身に付いた知識・技能をフルに活用して、相手に伝わる内容でプレゼンテーションが出来ている。	知識・技能は活用して、プレゼンテーションしている。	相手のことを考えないで、ただプレゼンテーションをしている。

都立葛飾商業高等学校 令和5年度 年間授業計画

教科	商業	科目	課題研究（ビジネスデザインⅡ）	学年	3	単位	3
教科書(出版社)							
副教材等(出版社)		Illustrator & Photoshop 操作とデザインの教科書（技術評論社）					

1. 学習の目標

競争が激化する市場において求められる「価値創造」を具現化し、ビジネスの幅広い領域で、イノベーティブなソリューションを生み出すクリエイティブカと、それを実行できる能力と態度を育てる。

2. 学習内容

学期	単元	授業内容	時数
1	デザインコンペへ出展する作品の考案および課題制作 クライアントの意向に沿った課題制作	Illustrator/ Photoshop の応用を用いて、課題を制作する。 【外部応募の課題制作】 ・T シャツデザインの考案・作品制作 ・エコバックデザインの考案・作品制作 ・2024年の年賀状デザインの考案・作品制作 【地域連携課題制作】 ・地域イベントの案内広告デザイン考案・作品制作 ・学校案内ポスター・パンフの考案・作品制作 ・ロゴデザイン考案・作品制作 ・選挙案内ポスターの考案・作品制作	36
2	デザインコンペへ出展する作品の考案および課題制作 クライアントの意向に沿った課題制作	Illustrator/ Photoshop の応用を用いて、課題を制作する。 【外部応募の課題制作】 ・未来の自動車関連のデザイン考案・作品制作 ・新聞広告系デザイン考案・作品制作 ・ファッション系デザインの考案・作品制作 ・企業ロゴ・キャラクターデザインの考案・作品制作 ・その他 【地域連携課題制作】 ・商品パッケージデザインの考案・作品制作 ・その他	45
3	デザインコンペへ出展する作品の考案および課題制作 クライアントの意向に沿った課題制作	Illustrator/ Photoshop の応用を用いて、課題を制作する。 【外部応募の課題制作】 ・ステーションナリーグッズの考案・作品制作 ・オリジナル絵本の考案・作品制作 ・その他	12

3. 評価規準・評価方法

評価の観点	評価方法	A (良い)	B (概ね達成)	C (不十分)
【関心・意欲・態度】 デザインに関する分野に関心があり、積極的に課題に取り組もうとしている	授業での様子 活動報告書や コンセプトシートの記入	デザイン制作活動に大変興味・関心があり、自ら課題を見つけ、積極的に取り組もうとする意欲、課題解決に向けて取り組む姿勢がある。	デザイン制作活動に興味・関心があり、与えられた課題に取り組もうとする意欲と、課題解決に向けて取り組む姿勢がある。	デザイン制作活動に興味・関心がなく、与えられた課題に取り組もうとする意欲がない。
【思考・判断】 クライアントの要望にどのように応えていけばよいのかを考えて、作品制作を行うことができる	授業での様子 活動報告書や コンセプトシートの記入	自らクライアントの要望を収集・分析し、それらを踏まえ、周囲の意見や考えを取り入れながら、自ら問題を解決し、積極的に課題に取り組んでいる。	与えられたクライアントの要望を収集・分析し、それらを踏まえ、周囲の意見や考えを取り入れながら、積極的に課題に取り組んでいる。	与えられたクライアントの要望を収集・分析し、それらを踏まえて課題に取り組んでいない。
【表現・技能】 Illustrator や Photoshop を活用して、作品を制作することができる	授業での様子 作品データや 作品プレゼン	高度なデザイン制作における企画、構成、発想、色彩感覚があり、デザインソフトを積極的に活用し、クライアントの要望に応えた作品を制作できる。	基本的なデザイン制作における企画、構成、発想、色彩感覚があり、デザインソフトを活用し、ある程度、クライアントの要望に応えた作品制作を行うことができる。	基本的なデザイン制作における企画、構成、発想、色彩感覚のうち、いずれかを満たしているが、デザインソフトを活用し、作品制作を行うことができない。
【知識・理解】 作品コンセプトの考案や作品制作に必要な知識を習得している	授業での様子 活動報告書や コンセプトシート	アイデア発想、色彩、グラフィックデザインに必要な基本知識があり、クライアントの要望をきちんと理解している。	アイデア発想、色彩、グラフィックデザインに必要な基本知識があり、クライアントの要望をある程度理解している。	アイデア発想、色彩、グラフィックデザインに必要な基本知識のいずれかがあがあるが、クライアントの要望を多少理解していない。

※具体的な評価方法等

以下の基準により総合的に判断する。

- ① 4 : 6 = (授業状況・出欠・提出物・作品以外の提出物) : (作品・アクティブラーニング) の割合で評価する
- ② デザインコンセプトを設定し、作品を制作しているか
- ③ 指定された条件を守り、作品を提出しているか
- ④ Illustrator / Photoshop の操作が身に付いているか

都立葛飾商業高等学校 令和5年度 年間授業計画

教科	商業	科目	課題研究（広告制作）	学年	3	単位	3
教科書(出版社)							
副教材等(出版社)							

1. 学習の目標

- ・ Adobe社の premiere PRO を使いこなすことができる。
- ・ 商品について理解を市、ターゲットを決定し、そのターゲットにあった広告を制作することができる。

2. 学習内容

学期	単元	授業内容	時数
1	(1) 広告制作	<ul style="list-style-type: none"> ・ premiere pro の仕様説明 ・ 広告のマーケティングを理解 ・ 絵コンテ作成 ・ 広告制作商品選定・商品撮影 ・ 広告制作 ・ 広告発表 ・ フィードバック 	36
2	(1) オリジナル広告制作	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市場調査 ・ オリジナル商品の考案 ・ 絵コンテの作成 ・ オリジナル広告商品撮影 ・ オリジナル広告制作 ・ 広告発表 ・ フィードバック 	45
3	(1) オリジナル広告制作	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市場調査 ・ マーケティングツールの活用 ・ オリジナル商品の考案 ・ 絵コンテの作成 ・ オリジナル広告商品撮影 ・ オリジナル広告制作 ・ 広告発表 ・ フィードバック 	12

3. 評価規準・評価方法

評価の観点	評価方法	A (良い)	B (概ね達成)	C (不十分)
【関心・意欲・態度】 ・社会における広告の必要性に気づき、商取引に情報機器を活用しようとし、意欲を持って、広告制作に必要な知識や技能を積極的に学ぼうとしている。 また、商品決定において、ターゲット決定やオリジナル広告制作ができる。	・ストーリーシート ・動画作成	・積極的に広告について調べ、意欲的に動画制作に取り組んでいた。	・広告について調べ、動画制作に取り組んでいた。	・広告を調べず、動画正しく取り組んでいない。
【思考・判断】 ・広告制作をするために、目的に応じたツールを適切に選択し、ターゲットを明確にした内容のデザインに加工する工夫を行うとともに、分かりやすいオリジナル広告制作ができる。 ・知的財産権を意識したオリジナル広告制作を行うことができる。	・ストーリーシート ・動画作成	・世の中のニーズを理解し、オリジナルの動画内容を考案することができる。 ・知的財産やターゲット層に対して適切な手法を用いることができた。	・ある程度世の中のニーズを理解し、オリジナルの動画内容を考案することができる。 ・知的財産やターゲット層に対して知ることができた。	・ニーズを理解せず、オリジナルの動画内容を考案できなかった。 ・知的財産やターゲット層を知ることができなかった。
【表現・技能】 ・動画やテキスト、静止画などのコンテンツを利用した情報発信に必要なソフトウェアを活用して広告制作ができる。	・ストーリーシート ・動画作成	・商品にあった広告制作をするため、自ら進んで取り組み、エフェクトなどの多くの効果を活用することができる。 ・実広告と比べても遜色ないハイクオリティで、他者に自ら制作した商品の購買欲求を掻き立てる広告である。	・商品にあった広告制作をするため、エフェクトなどの効果を活用することができた。 ・他者に自ら制作した商品の購買欲求を掻き立てる広告である。	・商品にあった広告制作をするためのエフェクトなどの効果を活用することができない。 ・他者に自ら制作した商品の購買欲求を掻き立てることができなかった。
【知識・理解】 ・ビジネスにおける広告の意義や役割を理解するとともに、広告を用いて情報を効果的に伝えるための基礎知識や分析、企画・立案、制作、公開の手法を身につけている。	・ストーリーシート ・動画作成	・制作した広告のターゲット層を明確に理解している。 ・ターゲット層のリサーチ方法について熟知している。	・制作した広告のターゲット層を理解している。 ・ターゲット層のリサーチ方法について概ね理解できている。	・制作した広告のターゲット層を理解していない。 ・ターゲット層のリサーチ方法について理解していない。

※具体的な評価方法等

・出席・提出物・授業への取組等を総合的に判断する。

- (1) 課題について、提出期限内に指示された通りの内容で提出・発表できているか。
- (2) 発表等において、自分の作成した意図等を他人に的確に伝えることができたか。
- (3) グループワーク時、積極的に協力する姿勢を見せることができたか。積極的に取り組んでいるか。

都立葛飾商業高等学校 令和5年度 年間授業計画

教科	商業	科目	課題研究（プログラミング演習）	学年	3	単位	3
教科書(出版社)							
副教材等(出版社)							

1. 学習の目標

ソフトウェア開発に必要なプログラミングのスキルを習得し、情報システムの開発工程の内容や特徴を理解し、目的に応じた情報システムを開発するための知識と技術の習得目標とする。

2. 学習内容

学期	単元	授業内容	時数
1	プログラミングの学習 システム開発の概要	Java プログラミングの復習 システム開発とは システム開発の主な流れ システム設計	36
2	アプリ開発実習	身近な問題を解決するためのアプリ開発	45
3	アプリ開発実習および発表	身近な問題を解決するためのアプリ開発 開発したアプリのプレゼン発表	12

3. 評価規準・評価方法

評価の観点	評価方法	A (良い)	B (概ね達成)	C (不十分)
【関心・意欲・態度】 Java の必要性や利便性について考えることができる	作品 自作プリント	主体的に Java の必要性や利便性について考えることができる	Java の必要性や利便性について考えることができる	Java の必要性や利便性について考えることができない
【思考・判断】 作業効率を考えながら作業することができる	作品 自作プリント	クライアントの要望に応えるため、作業効率を主体的に考えながら、作業することができる	クライアントの要望に応えるため、作業効率を考えながら、作業することができる	作業効率を主体的に考えながら、作業することが出来ない
【表現・技能】 Java を活用して、アプリを作成することができる	作品 自作プリント	学習してきた知識を生かし、Java を活用して、アプリを作成することができる	Java を活用して、アプリを作成することができる	Java を活用して、アプリを作成することができない
【知識・理解】 プログラミングに関する用語について理解している	作品 自作プリント	作品コンセプトや作品制作に必要なプログラミング用語について理解している	作品コンセプトや作品制作に必要なプログラミング用語について概ね理解している	作品コンセプトや作品制作に必要なプログラミング用語について理解していない

※具体的な評価方法等

- ① 4 : 6 = (授業状況・出欠・提出物・作品以外の提出物) : (作品・アクティブラーニング) の割合で評価する
- ② デザインコンセプトを設定し、作品を制作しているか
- ③ 指定された条件を守り、作品を提出しているか
- ④ 制作ソフトを理解し、その操作が身に付いているか